

国公立医学部 & 難関大専門予備校 St.Mepres塾報



私が大学の入学式に参席することがあるのは巣立った教え子を祝福するためだけではありません。翌年巣立つことになる教え子の入学式を頭の中で重ね合わせて絶対実現させるんだ！と自分自身を叱咤激励するためでもあります。名大医学部10名合格、藤田医科大学には25名合格とかそんな華々しい数字には私は全く興味がありません。セントメプレスの使命は一人ひとりをお預かりした出発地点から目標達成まで「個」育てすることだけです。私は個の世界に生きています。

塾生に言いたいことは、とにかく自分に向き合って自分から逃げず自分を卑下せず少々の困難はものともせず他人からの評価に右往左往せず自分の歩みたい道を進んで自分のあるべき姿にどこまでも近づいていく生き方をしてほしいということです。そのように塾生の一人ひとりがそれぞれ望む方向に人生を進めていくのをセントメプレスは誠心誠意サポート致します。そのサポートの質を高いレベルに保つため従来総定員を30名としておりましたが、来年(2026年)からは新体制として高卒部定員15名・高校部定員25名・中学部定員10名とステージ別に指導生徒数上限を定めることに致しました。これにより担当制を明確にしてそれぞれのステージに最適の指導が行き届くように努力致しますので、なお一層のご期待を賜りますようお願い申し上げます。

なお本年9月からは新体制に向けた移行(臨時定員増)期間として5名追加募集しております。この機会にどうぞセントメプレスの手塩に掛けて「個」育てする教育空間を共有していただければと願っております。

学長 中野俊一

■月に1回開催しております【前野芳正先生による医学部対策講座】参加生徒の感想です

Aさん

私は現役時代、自分で前もって作った文を覚えて、担当の先生と面接対策をしてきましたが、設備の事や研究環境を話してきました。しかし、本学を志望する理由は設備以外で、学科や講座で決めた方がいい等、前野先生が面接官として体験されてきたことを含めて聞くことができたので良かったです。今まで個人面接しか受けた事はありませんが、私大には色々な面接形式があると思うので、その大学に応じて対策をしなければと思います。集団討論とかは書記をした方がいいとか、まとめたり、話がそれれば戻す役割だと加点される等、初めて知ることの方が多かったです。素直に答える！ことを大切に、日々コミュニケーションをとることを心がけたいです。

Bさん

面接で聞かれることやしっかりと準備していくべきこと、質問に対する回答の例などを学ぶことができてとても良かったです。また、面接の種類についてMMIなどの実施形式を詳しく知らなかったのですが今回の講義でそれらをより知ることができ、そして面接官経験があるからこそ面接官が見ている点や聞いている点を知れたので今後の面接で活かしていきたいと思いました。

質問の回答中に頭が真っ白になってしまったり、次の言葉に詰まってしまったりした場合にどのように対処すれば切り抜けられるかも参考になりました。今回の講義もとても有意義で学びのあるものでした。本当にありがとうございました。次回の講義も楽しみです。

Cさん

私は今まで集団討論は自分をアピールするためにたくさん話していくべきだと思っていましたが、他の方の意見をしっかりと聞く力とみんなの意見をまとめるために書記係をするなど協調性も必要だということが分かりました。それ以外にもわからない時はわからないと正直に言うという良いことが知れて良かったです。またコミュニケーション能力の大切さが分かりました。私はコミュニケーションをとるとき、緊張して声が小さくなってしまふ癖があるので普段から人とコミュニケーションをとるときにそうならないように意識して日々の人との会話を大切にしていこうと思います。今回学んだことを今後活かしていきたいです。貴重なお話をありがとうございました。

Dさん

貴重なお話をありがとうございました。

面接において重要な事について今まで明確に分かっていなかったということもあり、面接では沢山話した方が良いのだろうとばかり思っていたのですが、前野先生のお話で形式によっては話す量より協調性が重視されていたり、知っているかどうかに関わらず素直に答える事が大切であったりということを知ることができ、以前よりも面接への理解が深まったと感じました。

協調性やコミュニケーション能力を高めるためにも、日頃から周りの人との関わり合いを大事にしていこうと思います。



Eさん

非常に有益な内容であったと感じました。特に、面接での様子や評価基準について詳しく解説していただき、自分の準備の方向性を考え直す良い機会となりました。そして、自己PRや志望動機、アドミッションポリシーの重要性だけでなく、医師として求められる資質や倫理観についても触れられ、単なる知識の暗記だけではなく、真摯な姿勢が求められることを再認識しました。近日中に面接練習や集団討論をする機会があるため、先生の仰ったことを存分に発揮したいです。今後は、今回の学びを活かし、自己を磨きつつ、医師としての資質を高める努力を続けていきたいと考えています。この講義を通じて、面接に対する自信と意欲が一層高まりました！

Fさん

今回の講義で、面接では正直である事が大切なんだと改めて認識することができました。

また、様々な面接の形式について詳しく知ることができて良かったです。特に、集団討論について不安があったので、無理に司会をやる必要はなく、重要なのはコミュニケーション能力や、協調性だということ、などと色々なアドバイスが聞けてとても参考になりました。

本番、緊張してしまいパニックになってしまいそうな時や、知らない質問をされた時の対処法も知れて良かったです。

今回の講義での学びを活かして、本番まで、一日一日を大切に過ごそうと思います。本当にありがとうございました。

Gさん

僕は筆記試験ほど面接を重要視しておらず、質問に対する答えをなんとなくまとめて練習をあまりしていませんでした。

ですが、今回の講義を聞いて面接の出来が直接合格に関係する可能性が多いことを知り、今後は毎日少しずつでも面接に関する取り組みをしていきたいです。MMIについて知らないことばかりなので、例題を調べて答えを用意したり、自分がなぜ医師を目指しているのかを具体的に説明できるように深く考えたりしたいです。

Hさん

自分は集団での面接の流れについてあまりイメージができていなかったのですが、今回の講義では、特に集団討論のことについても詳しい話をしてくださりありがとうございました。集団の場合は面接であっても討論であっても、他の人の話を聞いていることが重要で、それに触れて自分の発言を考えると知りました。個人ではなく集団でやっていると意識して、自分の言いたいことばかりに集中するのではいけない、自分がより発言すれば良いというわけではないということ意識していかなければと思いました。

また、面接では発言が大学の理念、アドミッションポリシー、建学の精神に沿った内容であるかどうかにか気をつけること、高校生活や部活動の話をする際、行動面接に沿って説明を組み立てることを初めて知りました。自分の発言は長くて文が切れないことが課題で、話の流れを知ることができたのは内容の分け方につながるととても勉強になりました。ありがとうございました。